

18 ダチョウ類〈コヒクイドリ、オオヒクイドリなど〉

ア 和名：コヒクイドリ〈ダチョウ目、ヒクイドリ科、ヒクイドリ属〉

英名：Dwarf Cassowary、Benett's Cassowary

学名：*Casuarius bennetti*

分布：ニューギニア、ヤーペン島

イ 和名：オオヒクイドリ

英名：Southern Cassowary,

Double-wattled Cassowary,

Two-wattled Cassowary

Australian Cassowary,

学名：*Casuarius casuarius*

分布：モロッカ諸島、ニューギニア、

オーストラリア

(1) 動物の特徴と同定

ア コヒクイドリ

分布：ニューギニア、ヤーペン島、メラネシア諸島（ニューブリテン島）

特徴：襟の飾り羽が他の種よりも高く伸びる。襟の赤い肉垂および桃色の頬が欠けることがあり、頸部の基部の赤い斑のみのことがある。肉垂はパプアヒクイドリ（*C. unappendiculatus*）のように頸部の後や羽毛の中に伸びる。裸出部分は輝いた色彩であり、兜は一般的にメスのほうが高い。幼鳥は同一の褐色の羽毛、光沢のない裸出部分、未発達の兜を有する。

全長：100～110cm

体重：25kg。オスの体重はメスよりも20%少ない。

習性等：

- ・メラネシア諸島（ニューブリテン島）のコヒクイドリはおそらく移入されたもの。
- ・伝統的に認識されている7亜種（*papuanus*, *goodfellowi*, *claudii*, *shawmayeri*, *hecki*, *bennetti*, *picticollis*）がある。しかし、これらの有効な証拠に欠けている。
- ・寿命は、飼育期間31年の記録がある。
- ・抱卵期間は50日である。

イ オオヒクイドリ

分布：モロッカ諸島（セラム、インドネシアのアル島）、ニューギニア、オーストラリア（クイーンズランド北部）

特徴：2本の肉垂の長さや兜は非常に変異があり、裸出部分の色彩は気分で変化する。裸出部分は光沢があり、兜はメスのほうが高い。幼鳥は褐色で、光沢のない裸出部分および未発達の兜を有する。成鳥の羽根に変わるまで4年以上かかる。

全長：130～170cm

体重：65kgまで。85kgの記録がある。オスの体重はメスよりも20%少ない。

習性等：

- ・伝統的に認識されている8亜種（*casuarius*, *tricarunculatus*, *bistriatus*, *lateralis*, *sclaterii*, *johnsonii*, *aruensis*, *bicarunculatus*）がある。しかし、これらの有効な証拠に欠けている。
- ・寿命は、飼育期間61年という記録がある。

(2) 保定方法とマイクロチップの埋込み

ア 保定の方法

A 器具を使用しない保定法

体重 6kg までの幼鳥は両脚を折りたたんで、頭を立てた姿勢で保定するとよい。6kg から 15kg の鳥は脚を自由にさせて、腹部を抱えて保定できる。

B 器具を使用した保定法

成鳥のヒクイドリは脚の大きな爪が非常に危険であるため、保定にあたっては柔らかいスポンジを裏打ちした 10mm 以上の合板を使って、3 人以上で飼育施設の片隅に追い詰めるとよい。その後、保定者がヒクイドリの後から片腕を鳥の両脚の間に入れて持ち上げ、保定者の腹部に鳥の背中を押し付けて保定する方法があるが、保定者の体力や鳥の大きさによるため、保定檻に追い込んだほうが安全である。保定檻のサイズは両側の高さで奥行きが 115cm で前が 50cm で後が 67cm の幅である。ヒクイドリの外傷防止のため、保定檻はスポンジなどで裏打ちしたほうが良い。目隠しは全ての鳥類の保定に役立ち、ダチョウでは遮光布の頭巾が鳥を落ち着かせて保定が可能となる。しかし、頭巾をかぶせてもヒクイドリでは走り回るため、完全に保定檻に追い込んでから頭巾を被せたほうが良い。なお、ヒナはタオルにくるみ保定できる。

C 特に注意すべき事項

ヒクイドリは中央の指に伸びた爪での前蹴りが強烈であるため、保定者は決して鳥の前面に立ってはいけない。全て作業に当たり、保定者は皮手袋、ヘルメットを装着する。

D 麻酔法

マイクロチップの埋込み処置は短時間で終了するため、原則的には麻酔は要らない。しかし、人および鳥の事故を軽減するため、保定の前にメドミジン 100 μ g/kg などの鎮静剤を併用もよい。しかし、覚醒時に転倒して頭部挫傷で死亡することがあるため、必要以上に深く麻酔することはしない。

イ マイクロチップの埋込みの方法

A 埋込みの部位

頭部のすぐ後の nipping muscle と呼ばれる筋肉（左側）に埋込む。

B マイクロチップ埋めみの実際

術部をイソジン綿か 70%アルコール綿で消毒し、埋込み器の針を上記の皮下に穿刺しマイクロチップを埋込む。マイクロチップの脱落を防ぐため、皮膚の穿刺痕に外科用接着剤を塗布し、外用散剤を散布する。

C 特に注意すべき事項

皮膚を確実に露出して、マイクロチップを埋込む。